

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2016.2.15 No.254 連絡先 FAX 042-555-1911



CVオスプレイ配備撤回を 横田周辺反対連絡会が18000人分署名提出



オスプレイ横田配備反対連絡会（横田基地問題を考える会、横田基地の撤去を求める西多摩の会、横田基地もいない市民交流集会実行委員会、横田・基地被害をなくす会、第2次新横田基地公害訴訟原告団、第9次横田基地公害訴訟原告団）は、2月12日、参院議員会館で、防衛省と外務省に18,000人分の署名を提出し、要請行動を行いました。6団体が共同で政府要請をするのは初めてです。嘉手納、普天間、小松、岩国、厚木の基地周辺住民も参加しました。

要請に対し、防衛省と外務省の担当者は米側に「配備計画の見直しを求めることは考えていない」と回答。CV22オスプレイの「環境レビュー」について訓練の内容について詳細を明らかにするよう求めても、「米大統領令に基づいて米軍が作成したもので、日本はどうか言えない」と、どこの国の役人かと疑うような答弁に終始しました。（写真:2月12日、参院議員会館にて）

要請に対し、防衛省と外務省の担当者は米側に「配備計画の見直しを求めることは考えていない」と回答。CV22オスプレイの「環境レビュー」について訓練の内容について詳細を明らかにするよう求めても、「米大統領令に基づいて米軍が作成したもので、日本はどうか言えない」と、どこの国の役人かと疑うような答弁に終始しました。（写真:2月12日、参院議員会館にて）

アフガニスタン配備時のMV22オスプレイ事故率資料 米軍が削除

「MVオスプレイ アフガン配備機 90時間に1件の割合で事故発生」と、ミニ情報No.231でもお知らせしました。これは沖縄の地元紙や赤旗紙が報道していました。上記の要請行動の中で、情報源である米海軍安全センターが作成したデータを米軍が削除していたことが、分かりました。要請行動の参加者がこの事実に触れると、防衛省の担当者は同資料の報道をうけて、米側に確認したことを明らかにした上で「海兵隊として正規に公表したものではない。部内資料が誤って掲載された」「報告書には数値に誤りがあったので、いずれ正しいものが載る予定だ」と述べました。ひどい事故率なので日米両政府は、数字を改ざんするのでしょうか。

IHI隣接地におけるゲート設置について（2月、防衛省よりの情報概要）

○平成23年12月の安保会議決定及び閣議了解において、我が国が取得するF-35A（42機）については、平成24年度に完成機4機を取得し、平成25年度以降は国内企業が製造に参画することとしており、主たる国内企業として、三菱重工業（機体）、IHI（エンジン）、三菱電機（ミッション系アビオニクス）が製造参画することになっているところ。○IHIは、平成25年度以降、エンジンの最終組立・検査（FACO）及びエンジン部品の製造について米国P&W社との間で下請け生産契約をしており、平成28年度以降、IHIみずほ工場においてエンジンFACOが開始される予定。○米側は、エンジン部品等のIHI瑞穂工場への搬入や同工場で作成した完成エンジンの横田飛行場への運搬等について、保全及び輸送の効率性の観点

から横田飛行場とIHI瑞穂工場の西側隣接地にゲートを設置し、運用する予定。○ゲート設置に要する費用については、米側負担。（写真：IHI工場の西側、手前が横田基地）



最近の横田飛来機 F/A-18C、FAA、RC-135W、EA-18G等々 (No. 254 の裏面)



2月12日16時55分、米海兵隊・カリフォルニア州ミラマー基地・第314海兵戦闘攻撃飛行隊所属で岩国基地に配備されているF/A-18C ホーネット (左写真) 2機が着陸しました。F/A-18Cは13日10時46分離陸しました。



2月13日13時07分にはKC-10A 空中給油機が着陸しました。1月20日と21日、F-22と飛来した機種です。

2月13日13時30分、FAA:Federal Aviation Administration (連邦航空局) の飛行点検機 (左写真) が着陸しました。



2月12日17時16分、嘉手納基地・第55航空団・第82偵察飛行隊のRC-135W リベット・ジョイント (左写真) が着陸しました。2月13日13時48分、RC-135Wは離陸しました。RC-135Wは信号情報収集機として機首側面に側視レーダーを内蔵し、機体各部に無数のアンテナを配し電子信号の傍受を行います。

2月12日14時18分カリフォルニア州トラビス基地のC-5Mが離陸しました。



2月11日、原子力空母ロナルド・レーガン艦載機で、空母が出航していない時、厚木基地に配備されている電子戦戦闘攻撃機EA-18G (左写真) が2機、16時頃着陸し、給油と休憩?の後、19時50分に離陸、厚木基地へ帰りました。戦闘機が頻繁に飛来しています。

統合幕僚監部の内部資料に戦争法案の反映としてかかれていたキーンエッジ16

日本共産党の小池晃議員が8月11日の参院安保法制特別委員会で暴露した統合幕僚監部の内部資料は、5月末に作成。戦争法案の成立を前提に新ガイドライン (日米軍事協力の指針) を実施するための詳細な計画が記されていました。内部資料で示された日程表の流れをみると、戦争法案を国会提出後、防衛協力小委員会がACM設置検討を指示し、ACMが運用開始されたら、《法案の反映》⇒《日米共同演習キーンエッジに反映》と書かれています。(下表)

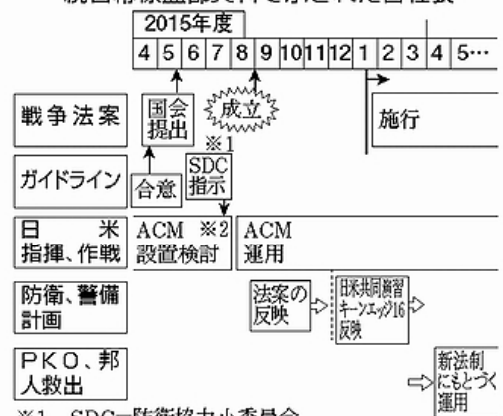
2016年1月に行われた日米共同統合指揮所演習 (キーンエッジ16) は、新ガイドラインと戦争法案を前提として実施することを決め、2016年度の計画に演習の成果や法案を反映すると明記していたのです。

ミニ情報No. 253にも書きましたが、キーンエッジは約7600人が参加して行われました。左の写真は米軍横田基地のHPに掲載されたものです。



横田基地で、米軍と自衛隊が一体となって演習を行っています。

統合幕僚監部資料で示された日程表



※1 SDC=防衛協力小委員会
 ※2 ACM=同盟調整メカニズム